



平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月10日

上場取引所 東

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第2四半期の業績(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	10,042	3.1	△730	—	△677	—	△426	—
25年4月期第2四半期	9,744	4.5	△454	—	△382	—	△255	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円銭	円銭	
26年4月期第2四半期	△88.84	—	
25年4月期第2四半期	△53.18	—	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	26,967	—	9,172	—	—	34.0
25年4月期	23,921	—	9,666	—	—	40.4

(参考) 自己資本 26年4月期第2四半期 9,172百万円 25年4月期 9,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年4月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	28,200	5.4	1,000	158.2	1,000	122.2	610	240.6	126.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年4月期2Q	5,075,500 株	25年4月期	5,075,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年4月期2Q	271,113 株	25年4月期	271,022 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年4月期2Q	4,804,444 株	25年4月期2Q	4,804,546 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	9
(1) 偶発債務	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成25年5月1日から平成25年10月31日まで)におけるわが国経済は、デフレ脱却や経済成長を目指した政府による経済・金融政策などにより、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、円安による燃料価格の上昇や海外景気の下振れ懸念もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社を取り巻く市場環境も、高額商品を中心として一部に消費回復の兆しが見られたものの、消費者の節約志向による慎重な購買姿勢の継続や、円安等によるエネルギーコストの上昇等が懸念される状況が続いております。

このような中、当社は、安全・安心かつ美味しさの追及に重点をおいた包装餅及び包装米飯の適正価格での健全な販売及び製品の安定供給に努めることを基本に、販売活動を行ってまいりました。

包装餅製品では、お客様の嗜好の変化に対応した3つの新製品、①シニア層のお客様からいただいた「切り餅50gは大きい」とのご意見から、重量・厚さを20%カットした「サトウの切り餅 こぶりにしました。」②若年層を中心とした幅広い年代に向け新たな餅の食べ方の提案である、スティック形状の切り餅「サトウの切り餅 いっぼん」③本当に美味しいお餅を食べたい方への最高級切り餅の提案として、厳選した良質米だけを使用し、餅を搗くのに最もよい環境を整え独自の製法により製造した「サトウの切り餅 至高の餅(新潟県魚沼産こがねもち・滋賀県産羽二重糯)」を、平成25年9月より全国発売いたしました。また、環境意識の高まりを受け、「やさしい鏡餅」発売以来、鏡餅装飾の簡素化に努めてまいりましたが、お客様の「鏡餅の容器が、硬くかさばり、捨てづらい」とのご意見から、当社従来製品に比べ容器重量を約3分の1削減、CO2排出量約25%削減、手で簡単につぶしたり、ちぎって小さくでき、捨てる時にかさばらない容器として、資材メーカーと共同で開発したPSP容器(発泡スチロールを素材とした容器)を「小飾り鏡餅」に採用いたしました。

ピンクリボン活動の趣旨に賛同し売上金の一部を寄付する取り組みとして、10月1日からのピンクリボン月間に合わせた限定商品のピンクリボンパッケージ「サトウの切り餅 パリッとスリット 400g」を発売いたしました。また、今年がサトウの切り餅シングルパックの発売から30周年にあたるため、それを記念して、同じく発売30年を迎えた「花王バブ」のギフトセットが当たる「サトウの切り餅シングルパック誕生30周年記念キャンペーン」を実施する等、年末に向けた需要拡大に取り組んでまいりました。

包装米飯製品では、お客様の利便性を訴求した新製品として、「赤穂の塩」とお米で炊いた、当社白飯では初めての味付きご飯である「サトウの塩ごはん」を、平成25年9月より全国発売いたしました。また、包装米飯の主要な購買層である高齢者のお客様から「パックご飯の蓋が開けづらい」とのご意見が多かったことから、パックご飯の開封性と密封性の両立を実現した包装資材である「マジックトップ」への切り替えを行ってまいりましたが、平成25年10月に包装米飯製造全ラインに導入が完了いたしました。

上記に加え、「玄関 OPEN RICE of サトウ♪」の新しいテレビCMの全国放映、良質米産地との共同販売促進企画の実施、発売以来製品に産地銘柄名を明確に表示していることがあいまってお客様の安全・安心意識にマッチし、堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は100億42百万円(前年同期比3.1%増)となりました。なお、製品分類別における売上高は包装餅製品が30億21百万円(同0.7%減)、包装米飯製品が70億17百万円(同4.8%増)、その他が4百万円(同30.9%減)となっております。

利益面につきましては、電力費やガス料の価格上昇及び減価償却費の増加による製造コストの上昇に加え、テレビCMの一部を10月に繰り上げ放映したことによる広告宣伝費の増加及び販売促進費等が増加したことから、営業損失は7億30百万円(前年同期営業損失4億54百万円)、経常損失は6億77百万円(同経常損失3億82百万円)、四半期純損失は4億26百万円(同四半期純損失2億55百万円)となりました。

なお、当社は主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期会計期間の売上高及び利益が他の四半期会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は156億76百万円となり、前事業年度末に比較し28億52百万円増加いたしました。

これは、原材料及び貯蔵品(前事業年度末比7億62百万円減)並びに未収還付法人税等(同2億11百万円減)が減少いたしました。受取手形及び売掛金(同13億79百万円増)並びに商品及び製品(同22億80百万円増)の増加が主な要因となっております。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は112億90百万円となり、前事業年度末に比較し1億93百万円増加いたしました。

これは、機械及び装置(前事業年度末比1億37百万円減)並びに投資その他の資産のその他(1億39百万円減)が減少いたしました。有形固定資産のその他(同4億65百万円増)の増加が主な要因となっております。なお、有形固定資産のその他の増加は、北海道工場及び佐賀工場のE S C O契約にともなうリース資産の増加によるものとなっております。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は134億79百万円となり、前事業年度末に比較し22億47百万円増加いたしました。

これは、流動負債のその他(前事業年度末比4億1百万円減)が減少いたしました。生産量の増加にともなう支払手形及び買掛金(同3億43百万円増)並びに運転資金としての短期借入金(同22億円増)の増加が主な要因となっております。なお、流動負債のその他の減少は、設備関係支払手形の減少によるものとなっております。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は43億15百万円となり、前事業年度末に比較し12億92百万円増加いたしました。

これは、設備資金並びに運転資金としての長期借入金(前事業年度末比8億23百万円増)及び固定負債のその他(同4億86百万円増)の増加が主な要因となっております。なお、固定負債のその他の増加は、E S C O契約にともなうリース債務の増加によるものとなっております。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は91億72百万円となり、前事業年度末に比較し4億93百万円増加いたしました。

これは、配当金の支払い及び四半期純損失による利益剰余金(前事業年度末比4億84百万円減)の減少が主な要因となっております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前年同四半期末に比較して36百万円減少し、26百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況を示すと、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、当第2四半期累計期間に支出した資金は15億58百万円(前年同四半期比11億26百万円減)となりました。これは、前年同四半期に比較し税引前四半期純損失の増加2億93百万円、売上債権の増加4億61百万円、たな資産の増加5億53百万円により支出した資金が増加いたしました。未収消費税等の減少3億41百万円、未払消費税等の増加2億82百万円、訴訟関連損失の支払額の減少8億77百万円、法人税等の支払額の減少2億25百万円、法人税等の還付額の増加2億11百万円により支出した資金の減少が主なものとなっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、当第2四半期累計期間に支出した資金は13億72百万円(前年同四半期比8億70百万円増)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出の増加8億74百万円が主なものとなっております。なお、有形固定資産の取得による支出は、東港工場の包装米飯製造ライン増設及び太陽光発電設備の資金決済が主なものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、当第2四半期累計期間に得られた資金は29億16百万円(前年同四半期比51百万円減)となりました。これは、設備資金及び長期運転資金としての長期借入れによる収入が6億円増加しておりますが、短期借入金の純増額が4億50百万円減少したことに加え、長期借入金の返済による支出が1億82百万円増加したことが主なものとなっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の業績は利益面で当初計画を下回りましたが、第3四半期以降に最需要期となる包装餅の販売動向や、消費税増税前の需要等を鑑み、平成25年6月11日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,804,232	1,789,716
受取手形及び売掛金	4,064,151	5,443,410
商品及び製品	1,634,032	3,914,800
仕掛品	299,978	314,314
原材料及び貯蔵品	4,181,882	3,419,376
未収還付法人税等	211,262	—
その他	632,868	800,229
貸倒引当金	△3,700	△4,900
流動資産合計	12,824,707	15,676,949
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,161,447	2,126,381
機械及び装置(純額)	3,845,949	3,708,527
土地	1,935,181	1,935,181
その他(純額)	260,959	726,770
有形固定資産合計	8,203,537	8,496,861
無形固定資産	14,986	12,247
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	1,887,400	1,929,913
その他	1,016,135	876,798
貸倒引当金	△25,210	△25,210
投資その他の資産合計	2,878,325	2,781,501
固定資産合計	11,096,850	11,290,610
資産合計	23,921,558	26,967,559

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	644,869	988,018
短期借入金	6,800,000	9,000,000
未払法人税等	2,335	7,103
賞与引当金	277,366	385,380
引当金	6,850	—
その他	3,500,861	3,099,012
流動負債合計	11,232,283	13,479,514
固定負債		
長期借入金	2,367,640	3,191,276
退職給付引当金	411,822	403,386
引当金	75,262	66,066
その他	168,363	655,059
固定負債合計	3,023,088	4,315,789
負債合計	14,255,371	17,795,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	8,675,680	8,191,185
自己株式	△305,685	△305,876
株主資本合計	9,419,769	8,935,083
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	246,416	237,172
評価・換算差額等合計	246,416	237,172
純資産合計	9,666,186	9,172,255
負債純資産合計	23,921,558	26,967,559

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
売上高	9,744,068	10,042,991
売上原価	6,663,207	6,990,439
売上総利益	3,080,861	3,052,552
販売費及び一般管理費	3,535,068	3,783,032
営業損失(△)	△454,206	△730,479
営業外収益		
受取利息	365	312
受取配当金	6,640	6,486
受取賃貸料	88,458	87,499
その他	121,273	122,723
営業外収益合計	216,739	217,021
営業外費用		
支払利息	53,635	70,517
賃貸費用	46,855	44,171
その他	44,984	49,413
営業外費用合計	145,475	164,102
経常損失(△)	△382,943	△677,560
特別利益		
固定資産売却益	29	52
特別利益合計	29	52
特別損失		
投資有価証券評価損	1,610	627
特別損失合計	1,610	627
税引前四半期純損失(△)	△384,523	△678,135
法人税、住民税及び事業税	2,264	2,410
法人税等調整額	△131,287	△253,704
法人税等合計	△129,022	△251,294
四半期純損失(△)	△255,501	△426,841

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△384,523	△678,135
減価償却費	363,635	532,662
貸倒引当金の増減額(△は減少)	800	1,200
賞与引当金の増減額(△は減少)	99,422	108,013
受取利息及び受取配当金	△7,006	△6,799
支払利息	53,635	70,517
売上債権の増減額(△は増加)	△917,711	△1,379,259
たな卸資産の増減額(△は増加)	△978,656	△1,532,598
仕入債務の増減額(△は減少)	492,574	343,149
未収消費税等の増減額(△は増加)	△105,304	236,310
未払消費税等の増減額(△は減少)	△282,405	—
その他	85,872	537,780
小計	△1,579,669	△1,767,157
訴訟関連損失の支払額	△877,229	—
法人税等の支払額	△227,839	△2,822
法人税等の還付額	—	211,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,684,738	△1,558,717
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△507,063	△1,381,652
投資有価証券の取得による支出	△375	△1
その他	5,462	9,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△501,976	△1,372,625
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,650,000	2,200,000
長期借入れによる収入	900,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△453,280	△635,820
リース債務の返済による支出	△6,733	△11,741
利息の支払額	△64,403	△77,984
自己株式の取得による支出	—	△191
配当金の支払額	△57,673	△57,651
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,967,909	2,916,611
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△218,805	△14,731
現金及び現金同等物の期首残高	282,115	41,559
現金及び現金同等物の四半期末残高	63,309	26,827

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 偶発債務

当社は、越後製菓株式会社(以下、「越後製菓」という。)より、当社が側面に切り込みの入った切り餅を製造・販売する行為が越後製菓の所有する特許権を侵害しているとして、平成24年4月27日付で、1,915,950千円の損害賠償を請求する訴訟を提起されております。

当社といたしましては、越後製菓の請求には理由がないものと考えておりますので、当社の正当性を主張して行く所存です。当該訴訟の最終結果には不確実性があるため、訴訟損失引当金を計上しておりません。